

自民維新の連立政権と地方自治

日時 1月25日 (日)

講演 午後 2:40 ~ 4:30

(奈良自治体問題研究所の総会終了後)

会場 大和郡山市市民交流館 (JR 郡山駅東隣)

3階大会議室

駐車場:隣のパレッタ駐車場 (有料)

資料代 500円 (主催者会員は無料)

講師 富田宏治 氏



関西学院大学法学部教授 (日本政治思想史)
大阪自治体問題研究所理事
全国革新懇代表世話人
原水爆禁止世界大会起草委員長
著書に『維新政治の本質 組織化されたポピュリズムの虚像と実像』『憲法が生きる市民社会へ』など

兵庫県知事選挙でのウソ、デマの横行、参議院選挙での突如の排外主義の広がり、人はなぜとも簡単に扇動され、熱狂するのでしょうか。中国との戦争もあると言った高市首相がなぜ高支持率なのでしょうか。戦争は怖くない、他人ごとなのでしょうか。

自民維新の連立政権は、憲法9条改悪、緊急事態条項の導入、ミサイルの整備、人権を脅かすスパイ防止法の成立、原発再稼働、外国人規制強化で排外主義の助長等で合意しており、その手始めとして、議員定数削減をしようとしています。また、消費税の減税拒否、最低賃金1500円目標を投げ捨て、労働時間の規制緩和を推進、軍事費GNP比2%達成、医療費4兆円削減、国債増発等、市民生活と地方自治に深刻な影響を与えるかねない政策を次々と打ち出しています。これらは、自治体の基本的な役割、「住民の福祉の増進」に逆行することにならないでしょうか。

維新研究の第一人者でもある富田先生に、分析、解説、対抗策をお話ししていただくようお願いしています。

主催
奈良自治体問題研究所
大和郡山市北郡山町246 大和ビル3F 奈良自治体労働組合総連合内
問い合わせ先 城 090-5881-5126